

以下は、平常時の取扱いです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、現在の利用時間や手続きは異なりますので、詳細は法学研究科院生会からの案内や法学研究科掲示板で確認してください。

法学研究科の研究環境について

1. 施設案内

(1) 光塩館

光塩館の入館、認証については次のとおりです。

<光塩館>

建物入口：月～金（祝日や大学の休日を除く）の8:00～18:00は自由に入出入りできます。

月～金（//）の18:00～翌8:00、土曜日および祝日・休日は、学生証による認証が必要です。祝日や振替休日が授業日の場合は、平日の取扱いとなります。

2～3階入口・エレベータ：終日、学生証による認証が必要です。

光塩館の共同研究室の利用は、月～土曜日（祝日や大学の休日を除く）の22:30までですが、22:30以降や休日に共同研究室の利用が必要な場合は、「構内残留・入構願」を提出すれば利用することができます。「構内残留・入構願」の提出がない場合、共同研究室は8:00解錠、22:30施錠（祝日や大学の休日を除く）です。

構内残留・入構手続きは法学部・法学研究科事務室（光塩館1階）で行います。事務室設置の所定の「構内残留・入構願」（3枚複写）に必要事項を記入のうえ申請し、許可を得てください。窓口で「構内残留・入構願」「構内残留・入構許可書」の2通と共同研究室の鍵を受け取った後、「構内残留・入構願」は正門門衛所に提出し、「構内残留・入構許可書」は残留（入構）時に携帯（保管）してください。残留（入構）後は、法学研究科事務室（事務室閉室時は光塩館1階ラウンジの返却ボックス）に鍵を返却してください。

「構内残留・入構願」が提出されている共同研究室については、22:30に構内警備担当者が施錠しないため、鍵は共同研究室ごとに厳重に管理し、利用後は必ず施錠したうえで返却してください。

なお、構内は全面禁煙です。

(2) 共同研究室

学部生と大学院生との大きな違いは、大学構内の共同研究室を利用できる点にあるでしょう。法学研究科の共同研究室は、光塩館2階に12室、3階に6室あります。各共同研究室には、定員分の机と書架の他、ロッカー、内線電話が設置されています。また、共同研究室内にある情報コンセントによる有線LAN接続の他、2階および3階は無線LAN（DO-NET1x）に対応しており、共同研究室からのインターネット利用が可能です（学術情報検索の内容については2（5）を参照してください）。平日の昼間、各共同研究室は施錠されていませんので、貴重品管理にはロッカーを活用してください。ロッカーの使用については、掲示を参照し、各人が法学部・法学研究科事務室（光塩館1階）で手続きをとってください。ロッカーの鍵を

貸与しますので、個人で責任をもって管理・使用してください。ロッカーの使用状況（使用者、使用場所等）は、共同研究室ごとに管理してください。

また、机、書架などはあくまでも公の物です。研究室は一人で利用するものではありませんので、周りの人の研究・勉学の妨げにならないように配慮し、談笑などは指定された場所で行うように心がけてください。私物については、修了されるまでに各自で責任を持って撤去・処分等をしてください。

(3) 演習室

法学研究科専用の演習室と演習準備室が光塩館2階に5室、博遠館に3室あり、授業は主にこのうちの演習室で行われます。授業で使用されない時間帯は、院生が私的な勉強会などに利用することができます。利用希望者は、法学部・法学研究科事務室（光塩館1階）で手続きをとってください。予約も可能です。

(4) PCルーム

光塩館2階にはPCルームがあります。PCの利用にあたっては、ソフトウェアをインストールしたり、設定を変更したりしないでください。また、利用に必要なUSBメモリ等は各自で用意してください。

なお、ユーザID・パスワード、学内ネットワーク利用方法については、情報教育環境ナビゲーション（ITサポートオフィスHP）を参照し、不明な点については〈ITサポートオフィス（良心館地下1階）〉にお尋ねください。

① PC

・PC 6台

* 図書館、情報教室等に設置されているPCと同様に、利用の際はユーザIDとパスワードが必要です。

② 複合機

* 上記PC（6台）のプリンタとして利用できます。

* プリンタとしての利用は1,600円分まで無料（用紙の持込は不要）です。1,600円を超えて利用する場合は、学内に設置されている証明書等自動発行機にて利用上限金額の加算手続きをしてください。

* コピー機としても利用できます。

(5) ラウンジ

光塩館2階には、法学研究科の大学院生が共同で利用できる共同ラウンジがあります。ラウンジには、ソファ、テーブル、コピー機等が設置されており、これらを自由に利用できます。

(6) 掲示板

法学研究科に関する連絡事項は、法学研究科事務室（講義関係を含む）および法学部研究室図書室関係が〈光塩館2階廊下〉掲示板にそれぞれ掲示されます。随時確認してください。

(7) 給湯設備

光塩館2階、3階には給湯設備があります。給湯設備は共有の設備なので、私物を置かないでください。

(8) その他

光塩館1階のラウンジは専任教員専用です。大学院生は教員との面談以外の目的で利用することができませんので注意してください。

2. 文献へのアクセス

(1) 法学部研究室図書室の利用

光塩館1階～地下2階に設置されている法学部研究室図書室では、書籍・雑誌・新聞などを所蔵しています。図書費（(3)③(a)参照）で購入している書籍や雑誌もここに所蔵されています。

同図書室には学内蔵書検索用のPC（D00RS端末）が2台設置されているほか、洋書・和書の新刊情報入手場所としても機能しており、書籍に関する幅広い情報を入手することができます。

利用者は、受付（閲覧者名簿に学生ID、氏名、入室時刻と閲覧証の札番号を記入）をして入室してください。ノート、筆記用具以外のものは、図書室備え付けのロッカーに収納してください。

図書貸出期間は、90日・上限10冊で、雑誌、新着雑誌、参考図書は原則禁帯出となっています。また、修士論文は、禁帯出・複写禁止（コピーおよびスマートフォン等を用いての撮影も禁止）です。

*法学部研究室図書室は月～金／9時～17時の開室の他、利用者を法学部生と法学研究科生に限定した時間外利用を行っています。時期によって、開室日が異なりますので、HPを確認してください。

*図書室内では静粛にし、マナーを守りましょう。飲食は厳禁です。

*貴重品には特に気を配ってください。

① 図書検索

図書の検索は、目録検索システム（D00RS）で行います。書誌詳細画面の請求記号から希望図書にたどりつけます。書庫では請求記号順に配架してありますが（記念論文集は別置）、

見当たらない場合は、該当箇所の前後も探すようにしてください。

*地下書庫内で閲覧した図書等は必ず元の場所に戻してください。元の場所が分からなくなったときは各階の返却用ブックトラックに戻してください。

*1階で閲覧あるいは複写した後の図書・雑誌は、元の場所には戻さず返却用ブックトラックに戻してください。

② 新着図書

新着図書は、新着図書コーナー（閲覧室南西角）に2週間展示した後、配架されます。

③ 雑誌

新着雑誌は、閲覧室北西側の書架に配架しています。製本した雑誌については、和雑誌は1階北東側の書架、洋雑誌は地下1階（MB1）の書架と電動書架に配架しています。いずれも誌名のアルファベット順に並んでいます。

④ 日本判例・法令

加除式図書を含め、1階閲覧室北東側の電動書架にあります。

⑤ 外国判例・法令

| | |
|----------|--------------------|
| アメリカ判例法令 | 地下1階（MB1）南西の電動書架 |
| ドイツ判例法令 | 地下1階（MB1）西側中央の電動書架 |
| フランス判例法令 | 地下1階（MB1）西側中央の電動書架 |
| イギリス判例法令 | 地下1階（MB1）西側中央の電動書架 |
| その他判例法令 | 地下1階（MB1）西側中央の電動書架 |
| スイス判例法令 | 1階閲覧室北東側の電動書架 |
| 加除式図書 | 1階閲覧室北東側の電動書架 |

⑥ 非図書資料

法学部研究室図書室に所蔵されているビデオ、DVD、CD-Rは貸出できません。閲覧室内の設備を利用して視聴してください。

⑦ 他大学の雑誌・図書のコピーサービス

所蔵が同志社大学になく他大学にある資料は、図書館レファレンスカウンターに依頼すればコピーが入手できますが、送料を含む実費が必要です。D00RSからweb申し込みもできません。詳細は図書館レファレンスカウンターまでお問い合わせください。

(2) 法学部研究室図書室内の各種機器

① コピー機 (iM2)

コピー機は、1階閲覧室および地下1階 (MB1) にあります (白黒1枚10円、カラー1枚50円)。コピー機の利用については以下の補助がありますので、有効にご利用ください。

大学院印刷補助費からの補助：1人あたり1000度数 (白黒1000枚) /年
法学会からの補助：1人あたり2000度数 (白黒2000枚) /年 →合計3000度数

- * 学生証にコピーカードの機能が付与されています。ICカードリーダーに学生証を乗せるとコピー機が作動します。
- * 学生証には、まず大学院印刷補助費からの補助1000度数が設定されています。法学会の2000度数へ移行する際には、法学部研究室図書室受付カウンターで別途設定作業が必要になります。詳しくは掲示をご覧ください。
- * 初期設定は白黒コピーのみですが、カラーコピーが可能な設定へ変更できます。ご希望の場合は、法学部研究室図書室受付カウンターへお申し出ください。
- * 学生証を紛失した場合、すみやかに今出川キャンパス教務センター (法学研究科) (良心館1階) と法学部・法学研究科事務室 (光塩館1階) の両方にお知らせください。法学部・法学研究科事務室 (光塩館1階) では学生証のコピーカード機能を停止します。機能停止までに第三者に利用された場合、減算された度数は戻すことができませんのでご注意ください。学生証の再発行は今出川キャンパス教務センター (法学研究科) (良心館1階) でお申し込みください。また、学生証の再発行後、コピーカード機能を再度付与する必要がありますので、法学部研究室図書室受付カウンターへお持ちください。
- * 法学部研究室図書室内にあるコピー機のうち、1台は教員優先となっています。注意して使用してください。
- * 学生証で利用できるコピー機は、光塩館のほかに、図書館および各学部研究科図書室にも設置されています。
図書館、経済学部研究室図書室 (良心館)、文学部研究室事務室 (徳照館)、文学研究科情報処理室 (明德館)、社会学部研究室図書室 (臨光館)、商学部・商学研究科書庫 (至誠館)、政策学部図書室 (臨光館)、ビジネス研究科図書室 (寒梅館)、司法研究科図書室 (寒梅館)、志高館烏丸書庫 等

② マイクロ・フィッシュ/マイクロ・フィルムのリーダープリンタ

1階マイクロリーダー室に設置されています。印刷は有料です (1枚10円)。

*ただし、料金は変更されることがあります。

③ 製本機

製本表紙、プラスチック製ストリップ、製本テープ等の消耗品は、法学部・法学研究科事務室に備えています。「使用明細ノート」に必要事項を記入のうえ、現金で実費をお支払いください。

*ホリゾン（糊づけ方式製本機：1階マイクロリーダー室）

※在庫が限られているため、事前にご相談ください。

| 表紙料金表（円） | 薄手 | 厚手 |
|----------|-----|-----|
| B5 | 50円 | 75円 |
| A5 | 45円 | — |
| A4 | 65円 | 90円 |
| B5横 | 55円 | 80円 |

*ファーストバック（製本テープ方式：1階マイクロリーダー室）

※大量に利用される場合は、製本テープの手配が必要です。事前にご相談ください。

| 製本テープ料金表 | 厚さ～13mm | 厚さ14～26mm | 厚さ27～40mm |
|----------|---------|-----------|-----------|
| A4 | 90円 | 110円 | 150円 |

④ スキャナー

1階マイクロリーダー室に設置されています。利用したい場合は、法学部研究室図書室受付カウンターまでお申し出ください。

(3) 図書の購入

① 図書費

法学研究科では、院生に対する研究補助の一環として、研究に必要な書籍をある程度自由に購入することができる図書費が計上されています。この図書費の用途（図書購入）については、各院生の要望が反映され、購入された書籍は法学部研究室図書室に所蔵されることになっています。

② 図書費の利用

図書費は、雑誌費および個人図書費に分類されます。図書費予算総額から雑誌費を差し引いた額が個人図書費です。

各院生は、個人図書費を院生総数で割った額×専攻人数の範囲内で、自己の研究に必要な書籍を購入できます。

③ 購入の方法

(a) 雑誌費による購読

定期購読雑誌は、毎年10月半ばまでに利用状況を調査・検討し、場合によっては購読を中止し、または新規に購読します。

(b) 個人図書費による購入

希望者が学内蔵書を調査し、法学部研究室図書室に所蔵されていないことを確認のうえ、法学部研究室図書室受付カウンターにて所定の用紙に記入・申請してください。ただし、研究に関連がないものは購入できません（収書基準参照）。洋書・和書とも、毎年度12月20日頃が購入申請の締切りです。

(4) 司法研究科図書室の利用

司法研究科図書室は、時間外にも利用できます。開室時間は、司法研究科のHPを参照してください。時間外の利用は、学生証による認証が必要です。

(5) オンライン・データベース等

法学部または司法研究科等で契約をしているオンライン・データベースおよび各種CD-ROMは以下のとおりであり、いずれも無料で利用できます。①～⑰は法学部・法学研究科HPのデータベース一覧（トップページ右下の「図書・データベース」よりお進みください）に、⑱～⑳は司法研究科HPのデータベース一覧に、㉑～は図書館HPのデータベース検索ポータルに掲載されています。

これらの検索は学内LAN に接続されているPC であればどこからでも可能ですが、一部、法学部研究室図書室1階閲覧室のPCからのみアクセス可能なデータベースがあります。

法学部研究室図書室1階閲覧室のPCには、プリンタに接続されているものがあり、1枚10円（白黒の場合）で利用できます。備え付けの「プリンタ使用ノート（法学部）」に必要事項を記入のうえ、現金でお支払いください。

① Lexis (旧Lexis Advance)

米国を中心とした海外の判例・法令・政府文書（議会資料等）・二次文献（法律論文や解説書）などの法情報や世界各国のニュース・ビジネス情報を提供するデータベースです。英語インターフェースの他、日本語インターフェース（簡易検索用）があります。入学時にWelcomeメールが届きますので、そのメールに記載されているIDと仮パスワードを利用して本登録をしてください。

② Westlaw Next

アメリカ合衆国を中心に、各国の判例・法令・行政関連資料や法律百科全書、約1,000タイトルにおよぶ法律雑誌・紀要など、法律関連資料を総合的に収録しています。また、世界

の新聞・ニュースや特許情報等、ビジネス法務に繋がる周辺情報も収録されています。サインオンして直ぐに使える直観的なインターフェースから、フルテキストに対して検索・閲覧が可能です。利用設定に必要なパスワードは、入学式後に全員に配付します。

③ Hein Online

法学分野における1,200タイトル以上の主要定期刊行物について、そのコンテンツをフルテキストにて提供するデータベースです。定期刊行物の他に、アメリカ政府の発行する官報「Federal Register」のフルテキスト及びアメリカの公式判例集である、「U.S. Reports」のフルテキスト（創刊の1954年から）の他、アメリカの国際条約を収録した「Treaties and Agreement Library」、イギリスの判例集、法案、判例の提供を開始するなど、アメリカ法、国際法に関する様々なコンテンツを提供しています。

④ USDDO (旧DDRS : アメリカ機密解除文書データベース)

1974年の情報公開法改正および大統領令11,652号により、研究調査機関などの強制審査請求によって、時効期限が切れる前に機密解除された文書を収録するデータベース。1941年以降の約78,000点の機密解除文書を収録。軍事政策・安全保障問題、科学技術情報・諸外国の政府情報・国土開発計画・外交問題などの文書画像、フルテキストが閲覧できます。

(アメリカ機密解除文書データベース「Declassified Documents Reference System」が「U.S. Declassified Documents Online」へアップグレードされ、収録文書が増加しました。)

⑤ JURIS Online

ドイツ司法省公認の法律情報システムです。ドイツの法令、政令、各級裁判所の判決、判例集、法律雑誌の重要論文、判例評釈書誌およびプレスリリースなどを網羅しています。オプションの『法律ポータル』により、ユリスの検索で連邦官報・連邦議会資料・連邦法令の同時検索が可能です。また、同じくオプションの「シュタウディングー民法典コメンタール」がメニューのKommentareフォルダに収録されています。

⑥ beck-online

法律専門出版社Beckが刊行する数多くの重要雑誌・書籍をオンラインで提供するデータベースです。

⑦ Lexis360 (旧Juris Classeur)

フランス法の総合オンライン・データベースです。フランス法律百科事典、民法典、学説論文（抄録）などを収録、1980年代後半からの判例をPDFで全文収録しています。

また、雑誌「La semaine juridique (全3種類)」を95年から全文収録しています。

⑧ CNKI (Chinese National Knowledge Infrastructure)

中国における総合的な学術情報データベースです。学術雑誌、重要新聞、博士・学位論文、重要学術会議論文などの各種データベースが収録されています。

法学研究科では、そのうち中国学術雑誌全文データベース（政治）と中国重要新聞データベース（政治／軍事／法律）が利用できます。データのダウンロード希望者は、法学部研究室図書室受付カウンターに申し出てください。

⑨ マックス・プランク国際公法百科事典オンライン版

ドイツのマックス・プランク研究所の監修の下、世界各国の高名な国際法学者・専門家の共同執筆により編纂された「国際公法百科事典」のオンライン版です。

⑩ 解放軍報

中国人民解放軍機関紙オンライン・データベースです。

⑪ Law Library Microform Consortium

マイクロ化された世界の重要法律文献のオンライン・データベースです。

⑫ Criminal Justice Abstracts

刑事・司法／犯罪学分野の抄録データベースです。

⑬ Westlaw Japan

多岐にわたる法律情報、資料群（法令、判例、審決等、書籍・雑誌、文献情報、ニュース記事）を過去から最新情報まで収録し、多彩な検索・表示機能とともに提供する法律情報総合オンラインサービスです。2014年4月より有斐閣オンラインデータベースの中のコンテンツがオプションで閲覧可能になりました（ただし、オプション部分は同時アクセス2）。図書館HPにも掲載されています。

⑭ Kluwer Arbitration.com (国際仲裁データベースOnline)

ICCA（国際商事仲裁協議会）・PCA（常設仲裁裁判所）・ITA（多国間仲裁協会）の3機関との提携により、国際仲裁に関する比類なく豊富な資料を提供するオンライン・サービスです。条約、法令・規則、判例・仲裁判断などの一次資料と、定評ある学術誌やモノグラフからの注釈、関連書誌といった二次資料を共に網羅。全文検索とダウンロードが可能です。

⑮ The Telegraph Historical Archive

イギリスの高級紙デイリー・テレグラフの創刊号から2000年までの記事を原紙に忠実に再現、全文検索を実現したデータベース。1961年創刊の日曜版サンデー・テレグラフも2000

年まで収録。

⑩ 楠田實資料（佐藤栄作官邸文書）

戦後最長の佐藤栄作政権（1964～1972）を支えた首席秘書官 楠田實が残した未公開官邸資料

⑪ 矢部貞治関係文書、同補遺

戦前戦後を通じて現実政治に深く関わった政治学者・矢部貞治（1902-1967）の旧蔵資料

⑫ LLI（法学部研究室図書室で利用可）

最高裁判例解説・判例集、判例タイムズ、金融法務事情、ジュリスト、労働判例、金融商事判例、判例百選の創刊号から最近号までのデータベースです。

利用希望者は、閲覧受付カウンターに申し出てください。

⑬ TKCローライブラリ（法学部研究室図書室で利用可）

判例・法令・文献情報・法律雑誌の豊富なコンテンツを搭載した日本法のデータベースです。従来から図書館HPで利用可能であった内容（⑭ LEX/DBインターネット）に加えて、有斐閣Vpass（Westlaw Japanの有斐閣Vpassと閲覧可能なコンテンツが少し異なります）等の出版社データベースが収録され、相互にリンクしています。

利用希望者は、法学部研究室図書室受付カウンターに申し出てください。

⑭ D1-law.com

憲法から告示まで31,000件余の法令、約220,000件の判例とこれを理解するための要旨・解説情報、また、幅広い収録対象誌から収集した約645,000件の文献情報等の法情報が掲載されています。

⑮ e-Gov 法令検索（旧：法令データ提供システム）

総務省行政管理局提供の日本の法令検索サービスです。憲法・法律・政令・勅令・府令・省令・規則の検索が可能です。

⑯ 法律判例文献情報

前記⑭ D1-law.comの「法律判例文献情報」にリンクします。

⑰ LEX/DBインターネット

大審院判決以降の公表された判決の検索・全文閲覧が可能なデータベースです。また、行政機関等の審決・裁決も収録し、税務・知財関係の独自個別データベースも含んでいます。

㉔ 本法令索引

国立国会図書館提供の法令検索サービスです。

㉕ 有斐閣オンラインデータサービス

現在の契約では、ジュリスト・論究ジュリスト、法学教室、判例百選、民商法雑誌が閲覧できます。

㉖ Nexis Uni (旧LexisNexis Academic)

世界各国のニュース、ビジネス情報、米国を中心とした法律情報などを収録したデータベースです。ニュースは英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語他欧米言語の記事を収録しています。インターフェースは日本語、英語、韓国語、中国語から選択できます。

各種CD-ROM (光塩館で利用可)

各種CD-ROM 等が法学部研究室図書室に保管されています。利用を希望される方は法学部研究室図書室受付カウンターに申し出てください。

電子ジャーナル

法学部で契約をしている電子ジャーナルを利用する場合は、データベースと同様に法学部・法学研究科HP「図書・データベース」からお進みください（「オンラインジャーナル一覧」）。

一部、ID・パスワードについて法学部研究室図書室受付カウンターへ問合せが必要な場合があります。

法学部・法学研究科HP「図書・データベース」から、図書館のサイト内にある「同志社大学電子ジャーナル・電子ブック」へ進むことができます。「同志社大学電子ジャーナル・電子ブック」では本学で利用可能な電子ジャーナル・電子ブックがタイトルや分野等から検索することができ、数多くの法律、政治分野の電子ジャーナルが掲載されています。

*上記のほかにも、PCを通じて利用できる学術情報検索サイトには様々なものがあります。上手に利用して研究に役立ててください。

※以上の記載内容は、編集時のものですので、変更の可能性があります。

新しい情報（変更点）があれば、随時、HPや掲示板にてお知らせしますので、確認してください。